

2019年4月20日(土)～6月2日(日)

見て、感じて、
遊ぼう!
はなが遊園地

—府中市美術館のゆかいな
創作版画コレクションより—

浅野竹二
《立っている毛物》1984年

84 T.O.

上田市立美術館

〒386-0025 長野県上田市天神三丁目15番15号 TEL0268-27-2300

<https://www.santomyuze.com/>

開館時間 ● 9:00～17:00(最終入場16:30)

観覧料 ● 一般800(600)円 高校・大学生500(400)円 小・中学生300(200)円

※()内は20名以上の団体、障害者手帳携帯者とその介助者1名

前売券 一般600円 2019年3月16日(土)～4月19日(金)

プレイガイド ● 上田市立美術館ミュージアムショップ

休館日 ● 火曜日(祝日の場合は翌日)および5月8日(水) ※4月30日(火)は開館

主催/上田市(上田市立美術館)、上田市教育委員会、第19回共同巡回展実行委員会

特別協力/府中市美術館 助成/一般財団法人地域創造



山本鼎《漁夫》

遊園地

を楽しくむように観てもらおう！

というのがこの展覧会のねらいです。

自由に**楽しい**版画の世界を
お楽しみください。

見て、感じて、
遊ぼう！
はんが遊園地



浅野竹二《老婆》

●鼎談「近現代日本版画の歩み ～創作版画を出発点に～」

日本の版画芸術のターニングポイントともいえる創作版画を出発点に、その後の日本版画の歩みを紐解きます。また海外から見た日本の版画についてなども含めお三方に語っていただきます。

日時 4月27日(土) 13:30～15:00

場所 美術館 2Fホワイエ

講師 志賀秀孝(府中市美術館副館長補佐)、西山純子(千葉市美術館上席学芸員)、吉田亜世美(版画家、アーティスト)

参加方法 展覧会観覧券をお求めください。

●版画体験「版画でつくろう!からくりカード」

みんなで作品を鑑賞したあと、開くと絵が変わる「からくりカード」を版画でつくろう!

日時 5月5日(日) 午前の部:10:00～12:00 午後の部:13:30～15:30

場所 子どもアトリエ

対象 5歳以上(小学生以下は保護者付き添い、大人のみの参加も可)

定員 各回15組

料金 無料

参加方法 4月15日(月)～21日(日)に、上田市立美術館HPのお問合せフォームからお申込みください。

●ギャラリートーク(学芸員による見どころ解説)

日時 5月6日(月)、26日(日) 13:30～14:15

参加方法 展覧会観覧券をお求めください。

●おしゃべり美術館「版画から聴こえてくる音・言葉を聴いてみよう」

作品の面白さ、ゆかたさを、皆さんでおしゃべりしながら鑑賞しませんか?

日時 5月18日(土) 10:00～11:00

参加方法 展覧会観覧券をお求めください。

●ナイトミュージアム

美術館の開館時間を延長します。

日時 5月18日(土)～19:00(最終入館 18:30)

5月5日(日)
こどもの日
中学生以下
無料

※小学生は保護者同伴



浅野竹二《食卓の猫》

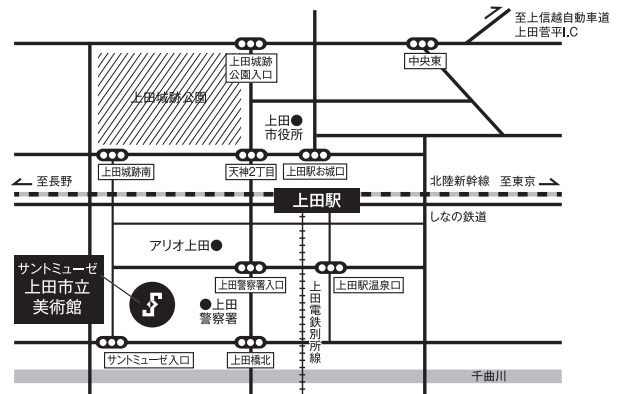
大胆な色使い、強烈なデフォルメや**抽象化**などの効果により、痛快で思わず**クスツ**と笑ってしまう作品や、鋭い視点に**ハツ**とさせられる作品、怖いのに可愛い、真面目なのに抜けている**不思議**な作品など、**「可愛らしさ」**や**「おかしみ」**を感じる**「創作版画」の名作**がやってきます。

「創作版画」とは、
描いたイメージを**自分で版に彫り、自分で紙に摺った版画作品**のことで、
1904(明治37)年、
美術文芸雑誌『明星』に掲載された、
山本鼎の《漁夫》によって始まりました。



谷中安規《お化模様》

前川千帆《踊子》



休館日 火曜日(祝日の場合は翌日)および5月8日(水)

※4月30日(火)は開館

アクセス お車: 上信越自動車道「上田菅平I.C.」より約15分

電車: 北陸新幹線・しなの鉄道・上田電鉄別所線「上田駅」より徒歩約7分

サントミュージゼ 上田市立美術館
SANTOMYUZE UTSUNOMIYA CITY MUSEUM

〒386-0025 長野県上田市天神三丁目15番15号

TEL0268-27-2300 <https://www.santomyuze.com/>